



よろこび便り

天成会 小林内科診療所 腎透析センター

臨床工学技士さんのことを知ろう!!

透析治療に携わっている病院スタッフで臨床工学技士さんの働きは非常に重要です。今回は当院で活躍している技士さんの事を紹介していきたいと思います。

臨床工学技士さん・・・6名（男性4名 女性2名）

当院での主な仕事内容は透析液の管理や透析監視装置の保守・点検、各種医療機器の保守・点検、中和装置の管理、透析業務を担っていますが、総合病院等では呼吸器や人工心肺装置の管理、集中治療室や手術室業務等、様々な現場で活躍しています。

〈小林内科診療所での臨床工学技士さんの1日〉

透析開始前 …ダイアライザーと透析回路を組み立てて回路内の洗浄(フライミング)を行います。
透析液濃度や残留塩素の測定をしています。

(※透析液は粉末を水で溶かし一定の電解質濃度に調整して使用します。
毎朝、透析液の濃度が正しい値になっているか確認しています。)

透析中の仕事 …穿刺、血圧測定や経過観察、記録、回収業務やベッド上でのリハビリ介助等
※その間に次の透析準備や外来からの依頼業務や検査をすることも…

透析終了時 …透析監視装置(コンソール)を感染予防のため消毒を用いて清拭し次回に備えます。

透析業務終了後…透析液は機械室で作成していますが、液を作る機械にはRO装置、溶解装置、供給装置の3つに分けられますが、それら装置の洗浄や次回の液準備をします。

※その他、透析監視装置(コンソール)は直接生命に関わる重要な医療機器であるため、毎日使用前の点検のほか、各メーカーの透析監視装置(コンソール)の部品や装置内のポンプ、電磁弁の交換を定期的に行い、皆様に安全な透析を提供できるよう日々努めています。

10月23日より臨床工学技士が1名加わりました。
宜しくお願いいたします。

臨床工学技士の木下(きした)です♪

※“きのした”ではありません

☆機械いじりが大好きでこの道に。

皆様のお役に立てる様頑張ります!

よろしくお願いします。

10月27日から

透析ベット数が

30台になりました

